

## かわしんのSDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### ◆ 川崎市SDGsプラットフォームについて

当金庫は、「川崎市SDGsプラットフォーム」の事務局として、川崎市と共にSDGsの普及・促進に向けた活動を行っています。脱炭素に関するセミナーの開催や子どもたちへの食料の配布・試食イベントの開催、事業者のマッチングや取組み支援など、地域や地域の皆さまの持続可能な発展を目指しています。



### ◆ 「エコアクション21」認証取得・登録について

環境負荷の低減に向けた取組みとして、環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証取得・登録をしました！脱炭素社会の実現に向けた取組みを加速させます。



## Information

### いつでもどこでも予約可能!!便利な来店予約サービス

資産運用・保険・相続・成年後見・口座開設・個人向けローン・事業者向けのご相談について来店予約が可能です。



ご予約いただくと、お待たせせずにスムーズにご相談いただけます。



※通信環境等によりご予約いただけない場合は、お取引のある店舗またはお近くの店舗までお問い合わせください。

各種ご相談もWebフォームをご利用ください



ホームページTOP>お問い合わせ>その他>メールでのお問い合わせ



## Topics 2024年度上期

- 4月**
  - > 第31回「かわしん杯ジュニアサッカー大会」実施(5月～7月)
  - > 第17回「里山保全管理活動」
- 5月**
  - > クールビズ実施(5月～10月)
  - > 第50回「ふれあい市場」
- 6月**
  - > 第11回「ビジネスマッチングwithかながわ8信金」
  - > 第28回「信用金庫の日」に伴う献血・募金活動実施
  - > 「かわしんエキサイトマッチ」開催
- 7月**
  - > 第33回「川崎ジュニア文化賞」表彰式実施
- 8月**
  - > 第33回「川崎ジュニア文化賞」受賞者親善訪問(北海道中標津町)
- 9月**
  - > 小さな善意「清拭クロス」寄贈
  - > 気仙沼復興イベントinかわさき2024



# かわしん レポート 2024.9月期

THE REPORT OF  
KAWASAKI SHINKIN BANK



〒210-0006  
川崎市川崎区砂子2丁目11番地1

ご意見、ご質問などは下記のフリーダイヤルでお受けしています。

0120-119-034

土・日・祝日及び12月31日～1月3日を除く  
午前9時～午後5時

ホームページのご案内

かわしん



<https://www.kawashin.co.jp/>

業務内容や商品・サービス、イベント情報、店舗・ATMのご案内、ディスクロージャー等、様々な情報がご覧いただけます。



川崎信用金庫  
<https://www.kawashin.co.jp/>



## ごあいさつ

日頃より、皆さまには格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、2024年9月末現在における経営内容をお知らせする「かわしんレポート2024.9月期」を作成いたしました。ご高覧のうえ、一層のご理解をいただければ幸いです。

地域全体の活性化が求められる中、これからも地域の中小企業、ならびに地域に住み・働く方の夢の実現を応援する“この街のベストサポーター”として、地域の持続可能な発展に寄与すべく全力で業務に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

理事長 堤 和也

## ● 営業実績

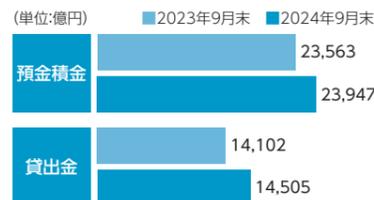
(単位:億円)			
	2023年9月末	2024年9月末	増減
預金積金	23,563	23,947	383
貸出金	14,102	14,505	402

預金積金は個人のお客さまの預金が142億円、法人のお客さまの預金が241億円増加したことにより、前年同月比383億円増加しました。

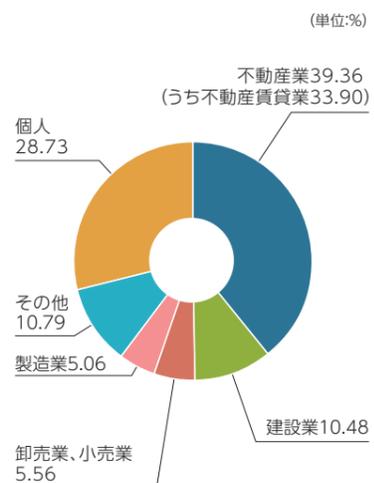
貸出金は事業者の方々への金融支援に積極的に取り組んだことから、前年同月比402億円増加しました。

## ● 貸出金業種別内訳

(単位:百万円)			
	2024年9月末		構成比 (%)
	残高		
製造業	73,399	5.06	
農業、林業	31	0.00	
鉱業、採石業、砂利採取業	73	0.00	
建設業	152,037	10.48	
電気・ガス・熱供給・水道業	139	0.00	
情報通信業	9,249	0.63	
運輸業、郵便業	18,635	1.28	
卸売業、小売業	80,727	5.56	
金融業、保険業	4,120	0.28	
不動産業	570,979	39.36	
うち不動産賃貸業	491,746	33.90	
物品賃貸業	3,193	0.22	
学術研究、専門・技術サービス業	10,897	0.75	
宿泊業	9,248	0.63	
飲食業	18,961	1.30	
生活関連サービス業、娯楽業	18,597	1.28	
教育、学習支援業	3,995	0.27	
医療、福祉	26,276	1.81	
その他のサービス業	29,554	2.03	
地方公共団体	3,589	0.24	
個人	416,813	28.73	
合計	1,450,523	100.00	



貸出金業種別内訳 (2024年9月末)



本資料に掲載する計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

なお、本資料に関する諸計数等は、会計監査人の監査を受けておりません。

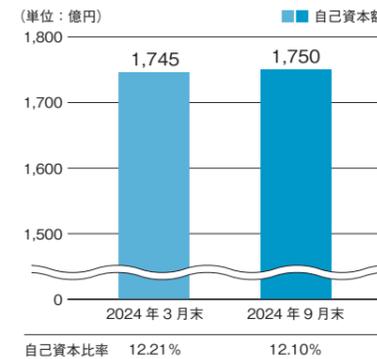


## ● 自己資本の構成と自己資本比率

(単位:百万円)			
	2024年3月末	2024年9月末	
出資金	1,098	1,081	
利益剰余金	173,132	174,356	
外部流出予定額(△)	32	-	
一般貸倒引当金	1,898	1,704	
コア資本に係る基礎項目の額	(A) 176,096	177,143	
無形固定資産	1,512	2,093	
コア資本に係る調整項目の額	(B) 1,512	2,093	
自己資本額 [(A)-(B)]	(C) 174,584	175,050	
信用リスク・アセット額	1,383,022	1,399,105	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	46,534	46,534	
リスク・アセット等計	(D) 1,429,556	1,445,639	
単体自己資本比率	(C)/(D)	12.21%	12.10%

自己資本比率は、貸出金の増加等により、2024年3月末比0.11ポイント低下し12.10%となりましたが、国内基準の最低自己資本比率である4%を大きく超える水準を維持しています。

自己資本の状況



## ● 収益状況

(単位:百万円)			
	2023年4月～9月	2024年4月～9月	増減
業務収益	14,008	14,263	254
資金運用収益	11,466	12,159	693
役員取引等収益	2,401	2,002	△ 398
その他業務収益	141	100	△ 40
業務費用	10,292	12,248	1,956
資金調達費用	179	448	269
役員取引等費用	997	1,096	98
経費	9,182	9,692	510
その他業務費用	3	1,010	1,006
一般貸倒引当金繰入額	△ 71	-	71
業務純益	3,783	2,046	△ 1,737
(コア業務純益)	3,712	3,051	△ 661
経常利益	3,142	1,746	△ 1,395
当期純利益	2,269	1,257	△ 1,012

業務収益は、手数料収入が減少したものの貸出金利息や有価証券利息配当金等が増加し、前年同期比2億54百万円増加の142億63百万円となりました。

一方、業務費用は、店舗の建て替えや勘定系システム更改へ向けて経費が増加。また、含み損となっていた国債の一部を売却したこと等から、前年同期比19億56百万円増加の122億48百万円となりました。

結果、業務純益は前年同期比17億37百万円減少の20億46百万円、経常利益は13億95百万円減少の17億46百万円、当期純利益は10億12百万円減少の12億57百万円となりました。

## ● 保有有価証券の情報

(単位:百万円)						
	2024年3月末	2024年9月末		増減		
		評価差額	取得原価	時価	評価差額	評価差額
商品有価証券 債券	-	-	-	-	-	
有価証券	債券	△ 5,225	188,882	183,588	△ 5,294	△ 69
	株式	24,213	7,397	31,570	24,172	△ 40
	その他*	11,183	65,227	76,515	11,287	104
合計	30,171	261,508	291,673	30,165	△ 5	

※「その他」は投資信託、外国証券(ユーロ円債)等です。

市場金利の上昇や株式市場の不安定さを背景に債券及び株式の含み益が減少し、保有有価証券全体の含み益は5百万円減少の301億65百万円となりました。

## ● 不良債権の状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)				
	2024年3月末	2024年9月末	増減	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,012	5,595	583	
危険債権	82,913	74,352	△ 8,561	
要管理債権	345	300	△ 45	
三月以上延滞債権	-	-	-	
貸出条件緩和債権	345	300	△ 45	
小計	(A) 88,270	80,247	△ 8,022	
保全額	(B) 83,586	76,157	△ 7,428	
個別貸倒引当金	(C) 5,513	5,562	48	
一般貸倒引当金	(D) 5	4	0	
担保・保証等	(E) 78,067	70,590	△ 7,476	
保全率 (%)	(B)/(A)	94.69	94.90	0.21
引当率 (%)	[(C)+(D)]/[(A)-(E)]	54.09	57.64	3.55
正常債権	(F) 1,344,732	1,370,772	26,040	
総与信残高	(A)+(F)	1,433,002	1,451,020	18,017

2024年9月末現在の金融再生法上の不良債権は2024年3月末比80億22百万円減少し、802億47百万円となりました。総与信に占める不良債権の割合は5.53%となっています。

不良債権残高

